



是枝裕和監督からの
アドバイスはありましたか

「現場では台本に目を落とすな。いくらでも顔を上げて、役者さんやスタッフの声を聴こう。その環境で起こっていることを逃さないようにしたほうがいい」とアドバイスをいただきました。また、台本通りではなく、「台本に書いていないことをどれだけ拾っていいのか、そこを大事にしなさい」と話してくれました。

男鹿市民にメッセージを！

5年間、男鹿に通ってさまざまなところ取材させてもらい、たくさんの人と出会うことができ、新しい故郷ができたような気持ちです。このような幸せなデビュー作を撮らせていただいたのは、本当にみなさんのおかげです。なんとかこの映画で恩返しできたらと思っています。劇場の大きなスクリーンで、ぜひ、皆さんに見ていただきたいです。
(関連28ページ)

あらすじ

彼の出した答えが、あなたの胸に突き刺さる——。
たすくは、娘が生まれ喜びの中にいた。一方、妻・ことねは、子供じみて、父になる覚悟が見えないたすくに苛立っていた。大晦日の夜、たすくはことねに「酒を飲まずに早く帰る」と約束を交わし、地元の伝

統行事「ナマハゲ」に例年通り参加する。しかし結果、酒を断ることができずに泥酔したたすくは、溜め込んだうっぶんを晴らすように「ナマハゲ」の面をつけたまま全裸で男鹿の街へ走り出す。そしてその姿をテレビで全国放送されてしまうのだった——。

それから2年の月日が流れ、たすくは東京にいた。ことねには愛想をつかされ、地元にも到底いられず、逃げるように上京したものの、そこにも居場所は見つからず、くすぶった生活を送っていた。そんな矢先、親友の志波からことねの近況を聞く。ことねと娘への強い想いを再認識したたすくは、ようやく自らの愚行と向き合い、地元に戻る決意をする。だが、現実はそう容易いものではなかった……。

果たしてたすくは、自分の『生きる道』、『居場所』を見つけることができるのか？



是枝監督・船越地区婦人会の皆さんと



船川第一地区婦人会の皆さんと



真山神社で撮影の安全と作品のヒットを祈願



クラシックアップし、出演者・スタッフ全員で記念撮影